

新長期総合計画(素案)に対する県民意見要旨

資料4

分類		意見の要旨
1	— —	10年後の姿をもっと県民にわかりやすく、具体的に示して欲しい
2	— —	外来語が多いため、可能な限りわかりやすい日本語で記載して欲しい
3	— —	「心のこもった優しさ」のある大分県を目指して欲しい
4	— —	概要のポイントの2つ目(地方創生)、3つ目(新たな政策・施策)の実現に力を尽くして欲しい
5	— —	計画に、県民が親しみやすい愛称をつけてはどうか
6	— —	10年という長いスパンの中で実効性のあるものを優先課題として行うべき
7	— —	大分県の人口減少は大変深刻な問題、各々の構想により発展を遂げ、増加が望めるとよい
8	— —	大分県のスローガンとして、「所得倍増計画」と銘打ってはどうか
9	— —	理想実現目標即実施を心がけ、実施にあたっては各地域に委ね、バックアップや連携への支援をしてはどうか
10	— —	5年間程度の中期目標として、具体的な重点目標を追加してはどうか
11	— —	時代の潮流に「九州オルレ」だけでなく、ノルディックウォーキング等の例示を加えてはどうか
12	— —	何ごとにおいても 県民の意識改革を促す策の必要性を感じる
13	— —	時代の潮流の中で、防災士をもっとおし出したらどうか
14	1 1	子どもが修学するまで、社会全体で子育て世帯に対して経済的支援や見守りを行うことが必要
15	1 1	安心、安全、活力の住みよい大分県を皆で守り育てたい
16	1 1	小学生までは医療費全額無料など若年層世代への予算配分を増やして欲しい
17	1 1	保育園の整備なども今後、早急に対応をしていく必要がある
18	1 1	若年家庭については、公的住宅の無償提供もしくは定額家賃での提供とし、家計への負担軽減を図って欲しい
19	1 1	子育て環境の整備は行政と地域が手を組み、息の長い取組が急務
20	1 1	子育て満足度日本一に向け、経済的条件の改善に踏み込んでみてはどうか
21	1 1	こども園での預け方の差を解消して欲しい
22	1 1	病児・病後児保育実施施設を増やすとともに、自宅でも病児を見てもらえる仕組みが構築できないか
23	1 1	保育園に安心してあずけられる環境づくりが必要
24	1 1	次世代が社会を担うためには雇用の地盤固めが必要
25	1 1	小学生にも、一時預かりの制度が欲しい
26	1 2	両親の別居、離婚等で家庭環境に恵まれない10代の子どもたちを安心して育てられる環境整備を行うべき
27	1 2	ひとり親家庭の実情を把握し、対応が必要な家庭に支援する具体例が必要
28	1 2	ひとり親家庭への支援や子どもの貧困対策が必要
29	1 2	性について学校教育で指導して欲しい
30	1 2	児童虐待未然防止のため、地域一体となり、定期的調査等で子ども・家庭のこをを見てあげることが必要
31	1 2	母子家庭等が日常生活を充実して送れるように支援をしてもらいたい
32	1 2	貧困は心への影響が大きく、寄り添えるような場所・人材を作って欲しい
33	1 3	独身男女の結婚の推進が必要
34	1 3	働く女性が社会で活動しやすい計画ができ、実行できるととてもよい
35	1 3	出産、未就学児ばかりのサポートが多いので、小、中、高も、ひき続き、サポートして欲しい
36	1 3	出産しやすい環境づくりなど、大分県独自の補助の整備が必要
37	1 3	20代の結婚、妊娠、出産、子育て費用の負担軽減を図り、若くして結婚し、出産し、子育てしやすい環境をつくるべき
38	1 3	腕が良く、話しやすい産婦人科医、小児科医を育成して欲しい
39	1 3	子育てについて、制度や特別な支援を充実させ、子どもたちのためになるような県になればと思う
40	1 3	企業に対しての育休制度の充実促進・計画相談対策の指南を作ってはどうか
41	1 3	無料で受けられる予防接種を増やすとともに、待機児童の減少をお願いする
42	2 1	受動喫煙による危害防止対策と、タバコ対策による健康づくりが必要
43	2 1	介護予防や地域交流のモデル地域を指定し、評価することが必要
44	2 1	健康のために歩くことと生活習慣の改善が大切
45	2 1	国保の特定健診、レセプトデータを活用した県民健康づくりを始めてはどうか
46	2 1	病気や怪我を予防する習慣が健康寿命の延伸に必要な要素であり、学校教育、広報活動が重要

新長期総合計画(素案)に対する県民意見要旨

資料4

分類	意見の要旨	
47	2	1 「自分の健康は自分で守り、健康づくりに励む」という考え方が一人ひとりが持つことだと思う
48	2	2 地域での質の高い医療サービスに引き続き長期にわたり取り組むことを望む
49	2	2 医療の充実と食育について、早急な対策を期待する
50	2	2 赤ちゃんから義務教育中の子どものアレルギー検査費等について記述してはどうか
51	2	3 地域包括ケアシステムの構築は本当の意味での高齢化において疑問
52	2	3 一人暮らし高齢者のパトロールや見守り、買い物への支援などのケアを進めるべき
53	2	3 健康長寿について、病気や怪我をしないための予防施策が必要ではないか
54	2	3 健康長寿の取組の中に認知症予防対策を盛り込んでどうか
55	2	3 医者と患者のコミュニケーションのあり方を解決し、安心して受診できる医療を望む
56	2	3 県民一人ひとりが認知症について正しい理解を深め地域での助け合いと普及啓発を強化して欲しい
57	2	3 介護サービスの基盤強化と介護人材の確保、介護者への給与アップと介護者の育成向上を願う
58	2	3 地域包括ケアシステムの充実を早々に望む
59	2	3 ボランティア活動などの社会貢献を望む元気な高齢者への支援方法の検討をして欲しい
60	2	3 役所・病院だけに頼らず、サロンなどを活用して各地域で高齢者を見守るべき
61	2	3 1人住まいの高齢者が安心して暮らせるよう、県、市の住宅が空いている部屋を用意して欲しい
62	2	3 介護保険料の上昇率全国平均トップでも今迄が全国で高かったので率よりも額で1番低くする事が大切
63	2	3 高齢者による子育て支援に大いに賛成する
64	2	3 高齢者の生きがいづくりや社会参画の促進に賛成
65	2	3 公共交通機関を支援し、自ら外に行ける環境を整備すべきではないか
66	2	3 女性・高齢者の参画を推進して欲しい
67	3	2 自立困難な障がい者のために、施設の充実などが必要
68	3	2 障がい者雇用率日本一に向けた支援を充実して欲しい
69	4	1 荒廃竹林対策、国土保全につながる森林づくり、森林の適正管理等をしてもらいたい
70	4	1 計画内における愛知目標の位置づけを検討して欲しい
71	4	1 地域づくりや地域創生の基盤要素として、その地域の生物多様性がもたらす「生態系サービス」が重要
72	4	2 家庭でゴミを燃やすことについて、取扱いを統一してもらいたい
73	4	2 3Rによってかなり削減されたかと思うが、まだまだゴミは減らせるのではないかと
74	4	2 レジ袋削減、リサイクルは定着して成果をあげているが、それを上回る対策を考えて、取り組むことはどうか
75	4	3 エコエネルギーや森林対策が進んでいるので楽しみにしている
76	4	3 「エコ」を明確に定義化し、本当のエコを推進してはどうか
77	4	3 マイカー利用の抑制を図ってはどうか
78	4	3 活性化するほど温室効果ガスなどが増加するので、自然を残すこと、公共交通機関を利用推進等が必要
79	4	3 温暖化防止キャンペーンを工夫してはどうか
80	4	4 ごみゼロ推進は方法によっては逆効果の場合もあり、具体的な取組を県民に周知すべき
81	4	4 美しさは、店舗においてはトイレにあらわれると考える
82	5	1 受刑者が刑務所内で労働し、刑務所の維持費用の捻出に努めてはどうか
83	5	1 性犯罪者の追跡性を向上してはどうか
84	5	1 パトロールの強化のために警察官の人員を増やして欲しい
85	5	1 パトロールの強化については、駅前や公園周りなどを主にすべきであり、また夜のパトロールも大事
86	5	3 動物愛護の前に、猫のふん害や野良猫の餌付けなどマナーが先ではないか
87	5	4 目標指標として「GAPやトレーサビリティSの認証件数」を設定してはどうか
88	5	5 「自分で作る“おおいた食の日”」を普通に生活に取り入れ、食文化の伝承、農作業などの関心を高めたい
89	5	5 県産・地元産の農産物等の素材や料理を積極的にPRすべき
90	5	5 内食より外食や中食の人が多くに対応していくべきかと考えます
91	7	1 小さな集落単独でも「ある程度は何とか生活できる」ための施策が欲しい
92	7	1 テーマごとにもっと実現可能性のメリハリをつけるべき

新長期総合計画(素案)に対する県民意見要旨

資料4

分類		意見の要旨	
93	安心 (108)	7	1 山間部ではサロンとして公民館を活用するより、老人クラブの活動を支援する施策が必要
94		7	1 民生委員が定期的に職務を見直せる講習会や管理体制の構築が必要
95		7	1 隣保班制度を活性化させ、地域の活性化に繋げて欲しい
96		7	1 収入の低い家庭、母子、父子家庭も同じ生活レベルで過ごせる社会を作って欲しい
97		7	1 地域社会の中で人とのつながりの希薄化が気になる
98		7	1 「市民後見人養成講座」の開講と、それに並行して「後見相談士」の養成が必要
99		7	2 引っ越してきた核家族が地域行事につながりが持てるようにしてほしい
100		7	2 小規模集落なりに、自治の努力をしているし、補助金の位置づけがはかられることが大切
101		7	2 地域の行事などに積極的に参加する人を増やし、拠点化を進めてほしい
102		9	1 地震、豪雨、火山活動、土砂崩れなど緊急時に備えての防災に十分取り組んで欲しい
103		9	1 近県で発生する可能性のある巨大火山噴火、原発事故等大規模災害の対象にすべき
104		9	1 県南地域の高台への避難ルート整備、支援物資の空からの輸送受け渡し場所の確保を早期に実行すべき
105		9	1 海拔の低い地域に避難タワーを建設してほしい
106		9	1 台風や集中豪雨などの際における、一人暮らし高齢者への情報提供を求める
107		9	1 東日本大震災がすくなく頭に残っており、日頃の訓練などの防災がとても大事
108		9	1 南海トラフの津波には初動が非常に重要
109		9	1 南海トラフ地震の対策をもっとたくさんの人に考えてもらいたいと思うので、災害について考える啓発は必要
110		9	1 地域で安心・安全に生きるためには、「避難」が大切
111		9	2 県庁やマスコミ各社が被災した場合の事前の検討が必要
112		9	3 大分川・大野川の洪水対策や土砂の有効利用による山の環境保全を望む
113		10	1 空き家の有効活用の施策や税課金の軽減対策を早急に行うべき
114		10	1 移住・定住者が地域参加できる環境づくりを進めるべき
115	10	1 UIJターンの成功には地域をあげての応援や世話人が必要	
116	10	1 県外等からの移住促進体制の充実を図って欲しい	
117	10	1 UIJターンについて、住宅情報と就職情報を結びつけた情報発信はできないか	
118	10	1 あらゆる世代が人口集中する「東京」(の魅力)を大分に創ってほしい	
119	10	1 これから増える都心部の要介護者の地方移住にあたっては、継続的な労働条件の手厚い支援が必要	
120	10	1 人口減少に歯止めをかけるには、UIJターンと県内定着の促進が最大の課題	
121	10	1 移住・定住希望者を市町村へ招き、説明会を開催してほしい	
122	活力 (53)	1	1 TPPがどのような方向に進んでいるのか見えてこないで説明が必要
123		1	1 自然を生かす農業から管理農業にシフトすべき
124		1	1 若い人が定住できるよう農林水産業、バイオ研究や企業・経営を学べる県立大学校を設立できないか
125		1	1 農地を広く管理して、会社経営に持っていくことで問題が解決できる
126		1	1 農林水産物の県産ブランドの強化と中山間地域における後継者対策に力を入れて欲しい
127		1	1 6次産業化を進め、地域で眠っている農産物を付加価値をつけた商品にして欲しい
128		1	2 大分県産の材木や魚を全国にもっと売り込むべき
129		1	3 しいたけの生産に手つかずの山林資源を活用し、企業に参入してもらってほしい
130		1	3 農地の集約化とこれを担う人達の確保が重要
131		1	3 農林水産業について大規模化する一方で、小・中規模農家への支援等も並行して充実させることが必要
132		1	4 獣害対策として、農道やガードレールを利用した柵の設置や周波数を利用した取組ができないか
133		1	4 農耕文化、伝統野菜などはしっかり保全継承し、快適で元気な農山漁村づくりを実現してほしい
134		2	1 起業に力を入れていることが伝わり、今後も心強いサポートを期待する
135		2	1 地場産業とエネルギーの地産地消を全国に発信し、持続可能な社会を育て発展させることが必要
136		2	4 活力ある街づくりに向けた商店街の活性化が必要
137		2	4 美術館を魅力的にする長期的な取組により、中心市街地活性化の核となることを期待する
138	2	4 県産品の多くを人々に知ってもらう方法として、ミニアンテナショップなどを東京や大阪の中心地に作るのはいかがでしょうか	

新長期総合計画(素案)に対する県民意見要旨

資料4

分類	意見の要旨		
139	2	6	若者たちに安定した職業を提供し、雇用の形態を安定させて欲しい
140	2	6	安心して働ける環境を整備し若年層の就労者を増やし世帯収入の増大を図り、結婚できる環境を整える
141	2	6	在宅勤務を導入する企業が増えており、そういった就労者を増やす施策を行ってはどうか
142	3	1	子育てしながら働ける環境づくりについて、現行の設備人員の有効活用で対応してはどうか
143	3	1	男女共同参画の視点に立った意識改革と環境整備については県民に何をやっているか伝わらない部分が多い
144	4	1	観光立県を目指し、観光情報を提供するなど地元TV局へ働きかけることを期待する
145	4	1	振興券を販売、推進する場合は、小規模店経営者にも配慮すべき
146	4	1	無料Wi-Fiの使用時間(1回15分間)が使用しづらい
147	4	1	県、市町村が一体となり外国人観光客を呼び込むため、インフラやコンテンツを整備してはどうか
148	4	1	APUと連携し、海外誘客対策を強化すべき
149	4	1	観光資源のベンチマークや他県が感じる観光資源の魅力の確認・検証をすべき
150	4	1	観光に携わる人材不足を補うためには、女性とシニアの活用と育成が不可欠
151	4	1	地域・全国・海外へ根気強く県観光情報の発信を継続することが肝要
152	4	1	大分県は外国人の観光客が多いので、グローバルな対応できるように環境を整えることが必要かと考える
153	4	1	訪れる方の国籍により多少準備の方も変える必要がある
154	4	2	温泉の無い地域へも destinations キャンペーンの波及効果が生じる取組の提案が必要
155	4	2	大分を売り込むため、温泉の湧出量や源泉数などの多さを実感できるものを見つけるべき
156	4	2	「おんせん県おおいた」は今後が大切、県・市町村、諸団体等との連携に期待したい
157	4	2	本県は温泉を始め、自然、食など観光資源に恵まれているので、一層の磨きをかけて誘客に繋げてはどうか
158	4	2	おんせん県では何を食せるか、観光できるか、働けるか、遊べるか等個々のPRをすることが必要
159	4	2	自然、温泉、伝統産業等の資源を生かして、全国独自の形でいよしと自然を提供し、発信してはどうか
160	5	1	留学生の受入れにあたってはしっかりと調査を行って欲しい
161	5	1	輸出活動について、挙げられた手段を生かし地道に努力すべき、特に留学生OBの力の活用は良い
162	6	1	大分の知名度は低く、徹底して売り込む方法を幅広くするべき
163	6	1	ブランド力の向上のため、県民全体にアイデア募集を行ってはどうか
164	6	1	県外向け広報にはテレビが非常に有効
165	6	1	坐来おおいたの利活用を食を通すだけでなく、さらに広げてはどうか
166	6	1	久大線はまさに温泉の多い線であり、スタンプラリー的な事をしてはどうか
167	7	1	農業遺産と連携し、大分農業文化公園を利活用するイベント等の増加を図り、同地域の活性化を追加して欲しい
168	7	1	別府・大分毎日マラソン・国際車イスマラソンの規模拡大による参加者(来訪者)の増加対策を追加して欲しい
169	7	1	防災士、商工会、等も入れると、より地域づくり人材の育成に成るのでは
170	7	1	早急な地域密着型産業の地域の基幹産業化を進めて欲しい
171	7	2	6地域ごとに1項目でもよいので目標指標を設定してはどうか
172	7	2	豊肥地域において、日本ジオパーク、ユネスコエコパーク、九州オルレなどの観光への活用をしてはどうか
173	7	2	西部地域の一番の強みの地熱の利用でのアピールを全面に出しても良いのでは無いのか
174	7	2	中部地域は山と海の地域なので、南海トラフも見すえて、山と海の連携の推進を書いたらどうか
175	1	1	難関大学・学部への進学に特化した公立高校をつくってはどうか
176	1	1	高等教育の場合、世界に羽ばたく人材を育成するには志の高い人を集めて共同生活をさせることが重要
177	1	1	学力不足の児童・生徒だけでなく、学力のある児童・生徒にも力を入れて欲しい
178	1	1	努力する程報われるのは人を育てる「教育県大分」の取組である
179	1	1	発達障害の認定を受けていないが多動気味の傾向がある子どもについて、適切な対応をして欲しい
180	1	1	大分のことをもっと知る機会を増やして将来誇りを持てる人間に成長できる支援を充実させて欲しい
181	1	1	グローバル社会こそ、謙虚で真摯な態度で多様な人々、物事に適応できる大人に育てることがよい
182	1	1	学校アレルギー検査に関する記述が必要ではないか
183	1	2	英語力の向上は、日常生活で実績できる工夫が重要で、英語にふれる仕組みづくりが必要
184	1	2	職場体験学習は一過性のものでなく、地域や周囲と連携した実践教育を取り入れるべき

新長期総合計画(素案)に対する県民意見要旨

資料4

分類		意見の要旨	
185	1	2	郷土学習に地元の民話を取り入れてはどうか
186	1	3	いじめ対策の充実、強化を望む
187	1	3	いじめに対して先生方や周りがどう向き合うかがとても大事、先生に対しての指導も強化して欲しい
188	1	3	学校の立地環境等に応じた防災教育の実施については、計画的、継続的な教育が必要
189	1	4	学校は情報を地域と共有し、学校、保護者、地域で子どもを見守り育てるべき
190	1	4	公園や広場等を整備し、戸外で年齢層を問わず集団で活動できる学習広場のような場所の提供が必要
191	1	6	青少年のボランティア活動として献血活動に力を入れて欲しい
192	2	1	大分県芸術文化スポーツ振興財団を増員し、音楽の分野を強化して欲しい
193	2	1	県民みんなが歌えるご当地ソングの製作など、音楽分野に光を当てる新しい政策が欲しい
194	2	1	おおいたの自然はすばらしい芸術であり、大分ならではの教育に活かして欲しい
195	2	2	美術館を魅力的な施設にすることが肝要であり、今後の取組に期待したい
196	2	2	芸術文化ゾーンを中心に、待ちのあちこちで芸術系イベントを行う期間を設けてはどうか
197	2	3	地域住民、特に高齢者や小中学生を巻き込んだ文化財保護が大事
198	2	3	掛軸等の保存について、所有者の理解をお願いしたい
199	3	1	中心地以外の地域では、水泳プールやジム等の整備が必要
200	3	1	大分県大型スポーツ施設(武道館)の記述を入れてはどうか
201	3	2	指導者の養成は、指導者として生活がなりたつように待遇面の強化が必要
202	3	3	スポーツ観戦について、多くの人を知ることができる募集方法を
203	4	1	四国に近い県なので、橋をかけることや、トンネルを掘るなどして、四国から人を呼びよせても良いのではないか
204	4	1	大分空港からのバスの整備など、外国人が訪れやすいようにする必要がある
205	4	3	県道、市町村道の補修や整備などには優しさが必要
206	4	3	都市の構造と交通インフラを総合的に考慮すべきではないか
207	-	-	人口増加のためには業種を問わず企業を誘致することが必要
208	-	-	人を呼び込むため、在宅勤務者の積極的な受け入れを促進してはどうか
209	-	-	人を呼び込むため、移住のための体験施設等を完備して本県の生活を実感してもらってはどうか
210	-	-	人を呼び込むため、東京圏から医療介護が困難になった人を受け入れてはどうか
211	地方創生	-	人を呼び込むため、中山間地域活性化に向け、リーダーを育成し、振興策を実施してはどうか
212	(10)	-	子どものグローバル強化のため、文化芸術など一流の物に接する機会をつくってはどうか
213	-	-	地方創生の4つの重点施策を実現するためには、「人」が中心となり、そのために安定した安心できる生活基盤が重要
214	-	-	人を呼び込み、地域が輝くようになれるといいと思う
215	-	-	施策の実行を大分市、別府市に集中させず、県央・県北・県南に分けて投資して欲しい
216	-	-	地域、地方が安定した生活基盤作りを、これに全力を注いでほしい
217	計画推進	-	施策範囲が広いため優先順位を決めてPDCAによる緻密な進捗管理が必要
218	(2)	-	計画と実績のズレを早期に修正しながら目標達成を確実にする仕組みが欲しい
219	その他	-	あいさつは大切であり、推進すべき
220	(2)	-	年金について、今の仕組みを検証して欲しい